

令和2年度 藤枝順心中学校・高等学校 学校評価 ()部

建学の精神 女性の自律・自主と先度他の心の涵養				
教育目標 白梅精神のもと、「清楚な生徒」、「芳香を発する生徒」、「忍耐のできる生徒」を育てる。				
本年度の重点目標 ①学習指導の充実 ②進路指導の充実 ③生活指導の充実 ④情報発信の充実 ⑤健康管理 ⑥安全管理				
重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び今後に向けての取り組み
①学習指導の充実	アクティブ・ラーニング	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試改革に向けて、アクティブ・ラーニング、ICTを利用した授業を実践する。 〔5教科による、年2回の研究授業を行い、全職員で授業検討会を行う。 (前期はICTを利用)〕 		
	授業動画視聴・オンライン授業	<ul style="list-style-type: none"> 学校のICT環境を整え、全職員が授業動画作成、オンライン授業のスキルを身につけることで、ICT教育の充実を図る。 生徒の授業動画視聴・オンライン授業を推進し、不意な事態による臨時休業に対応するために、生徒が家庭で学習を行うツールの1つとして活用する。 		
②進路指導の充実	就職指導	<ul style="list-style-type: none"> 3年後の就職を意識させ、3年間を見通した指導計画を提示。 企業に来校していただき、生徒が希望する企業から説明を受ける機会を設ける。(13社予定)また、オンラインによる企業説明会を初めて実施する。 企業訪問や卒業生、行政機関、企業採用担当者等の講話を通して、企業への理解を深め、社会人になることへの意識高揚を図る。 徹底した面接指導及び基礎学力の充実を図り、希望する会社への内定を勝ち取る。 		
	進学指導	<ul style="list-style-type: none"> 国公立大学&中堅以上私大以上6名以上(一般・推薦・AOを問わず) 高3生への面接・小論文指導強化 高1・2年生の学力向上、進研模試で全国平均(偏差値50)以上の生徒を、大進・中高各クラス3名(特進は5名以上)以上育てる。 進研模試・基礎力診断テストの事前準備・結果データ活用強化 各生徒への個別学習指導(放課後希望学習・スタディサプリ) 学習習慣定着(スコラ利用強化) 進路目標づくりの充実(現在実施中の目標設定課題・進路G・適性検査・進路調査を融合させる) 		

重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び今後に向けての取り組み
③生活指導の充実	礼法教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・「your steps」に従い美しい所作を指導する。(椅子の掛け方、歩き方、ドアの開け方、お茶の入れ方など) ・会食指導は礼法にかなった食事作法を実践する。 ・会釈・挨拶の励行をし、場に応じた挨拶の指導をする。 ・「授業をする上での留意すべき事項」に従い、礼法指導に即した授業実践をする。 		
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「情報収集→まとめ→分析→報告」を繰り返し、教師相互の共通理解を図り、指導にあたる。 ・一報を通して迅速な情報共有に努める。 ・週番活動を通して校風高揚に貢献する姿勢を指導する。 ・校風向上週間、マナーアップキャンペーンで清楚な身なりを指導する。 ・清掃活動を通して環境美化に努め、施設を丁寧に使用することを指導する。 ・教室内の整理整頓を通して私物の管理を正しく行い、清潔な生活感覚を育てる。 		
④情報発信の充実	学年通信 学級通信	<ul style="list-style-type: none"> ・通信を、学年主任・担任と保護者とのコミュニケーションの一つと捉え、学年・学級の状況を伝える。 〔月1回発行〕 		
	HP・SNSの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページによる情報発信のタイムリー性と実用性の向上 ・フェイスブック、ツイッター、インスタグラムの効果的な利用 		
⑤健康管理	保健管理 保健教育 健康相談	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を含めた日常の健康観察の実施(個人健康観察表・クラス健康観察カード) ・新型コロナウイルス感染症に対するガイドラインの作成と状況に合わせた検討 ・健康相談の充実を図り、生徒の支援を行う。その際、必要に応じスクールカウンセラーとの連絡を密にする。 ・感染症等の状況や生徒の成長、実態に即した健康教育の実施 		

重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を 評価する具体的な指標	評価	成果及び今後に向けての取り組み
⑥安全管理	職員防災 体制の充 実	<ul style="list-style-type: none">・危機意識を高めるための避難訓練の実施（7月～10月）・集団下校訓練を行う。・消火訓練、救急対策講習会などの訓練を通し、職員の意識向上を図る。・職員の役割分担の周知、徹底を図る。		